

防虫科学

季刊

第 35 卷—III

原 著

8. 嗅覚受容器における匂い識別機構のモデル
山田 稔・右衛門佐重雄・長谷川政美……69
 9. 玄米中のメオパール® (3,4-dimethylphenyl *N*-methyl carbamate) の残留分析
炭田精造・高木正博・宮本純之……72
 10. 新規ピレスロイドの殺虫効果 殺虫剤に関する研究 第1報
中西美智夫・向井俊彦・稲樹修司・津田 厚・安部宏三……76
 11. キクスリンの化学 殺虫剤に関する研究 第2報
中西美智夫・向井俊彦・稲樹修司・山中 勉・松尾 浩
・平 季久・鶴田峯生……87
 12. キクスリンの殺虫効果 殺虫剤に関する研究 第3報
中西美智夫・津田 厚・安部宏三・稲樹修司・向井俊彦……91
 13. キクスリンの安定性 殺虫剤に関する研究 第4報
中西美智夫・栗山経渡・工藤 章……96
 14. キクスリンの毒性研究 (その I) 殺虫剤に関する研究 第5報
中西美智夫・向井俊彦・竹内雅也・枝長正修……103
 15. キクスリンの毒性研究 (その II) 殺虫剤に関する研究 第6報
中西美智夫・浜田佑二・伊崎勝弘……113
 16. 新規 Pyrethroid; Kikuthrin の一般薬理作用 殺虫剤に関する研究 第7報
中西美智夫・岡田忠夫・首藤重利・山口辰舜……117
- 抄 録123

財団法人防虫科学研究所

京 都 大 学 内

昭和45年8月

防 虫 科 学

編 集 委 員

主 幹 武 居 三 吉

内 田 俊 郎 大 野 稔 中 島 稔

石 井 象 二 郎 井 上 雄 三 深 海 浩

投 稿 規 定

1. 防虫科学に関する研究論文，綜説ならば誰でも投稿できる。ただし原稿の取捨は編集委員会できめる。また原稿の字句については加除修正を行なうことがある。
2. 論文は邦文または欧文とし，邦文には欧文の，欧文には邦文の要約を添える。表題，著者名および所属機関名などは邦文・欧文両者を併記する。
3. 邦文原稿は原則として本誌規定の原稿用紙（400字詰50枚100円）を用いる。欧文はタイプライター用紙にタイプライターでダブルスペースに打つ。邦文原稿の写真，表および図の説明は欧文とする。
4. 邦文は平かな，新かな使いとし，欧語音読には片かなを用いる。ただし物質名，人名などは欧文のままとする。図は白紙または背線方眼紙にていねいに墨書し，原稿とは別紙とする。不完全な図はトレーシング費用を負担してもらうことがある。
5. 動植物の学名の下には_____を付ける（例：Chilo suppressalis イタリックとなる）。和名は片かなを用いる。数字はすべてアラビア数字を用い，数量の単位はメートル法による。単位および術語の略字は本既刊誌を参照されたい。
6. 句読点，カッコは1画を与える。ハイフンは区画の罫線の上に明瞭に書く。本文中の引用文献番号はカッコを付けて肩に小さく書く。文献は論文の最後に通し番号の順に列記し，著者名，雑誌名（書名），巻，頁，年号の順に記し，巻数には~~~~~を付ける（例：(1) Stevenson E. and Wyatt G. R. : Archs. Biochem. Biophys. 99, 65, 1966). 邦文雑誌名は日本化学総覧，欧文雑誌名は Chemical Abstracts, Biological Abstracts の規定の略名に従う。
7. 校正は原則として初校に限り著者が行なう。
8. 別刷は50部贈呈する。それ以上の希望数に対しては50部を単位とし，実質を申受ける（当分刷上がり1頁6円の計算による）。
9. 原稿の送付には送状を付し，発送年月日，連絡先，原稿枚数，写真および図・表数，別刷希望数などを記入する。原稿の郵送は留置とし，校正は速達とする。
投稿その他の編集に関する連絡は下記にされたい。

京都市左京区北白川 京都大学農学部
農薬研究施設 石井象二郎 (771) 8111 内 4669

“SCIENTIFIC PEST CONTROL”
BOTYU-KAGAKU

Bulletin of the Institute of Insect Control

Editor Sankichi TAKEI

Editorial Board

Syunro UTIDA, Minoru OHNO, Minoru NAKAJIMA,
 Shoziro ISHII, Yuzo INOUE, Hiroshi FUKAMI

CONTENTS

Originals

8. A Model for Odor Coding at the Receptors.
 Minoru YAMADA, Shigeo YOMOSA, Masami HASEGAWA.....69
 9. Method for the Determination of Residues of Meobal®
 (3,4-Dimethylphenyl *N*-Methyl Carbamate) in Rice Grains.
 Seizo SUMIDA, Masahiro TAKAKI, Junshi MIYAMOTO.....72
 10. Insecticidal Activity of a New Pyrethroid. Studies on Insecticide I.
 Michio NAKANISHI, Toshihiko MUKAI, Shuji INAMASU,
 Atsushi TSUDA, Kozo ABE76
 11. Chemistry of a New Pyrethroid: Kikuthrin. Studies on Insecticide II.
 Michio NAKANISHI, Toshihiko MUKAI, Shuji INAMASU,
 Tsutomu YAMANAKA, Hiroshi MATSUO, Suehisa TAIRA, Mineo TSURUDA...87
 12. Insecticidal Activity of a New Pyrethroid: Kikuthrin.
 Studies on Insecticide III.
 Michio NAKANISHI, Atsushi TSUDA, Kozo ABE,
 Shuji INAMASU, Toshihiko MUKAI.....91
 13. Stability of a New Pyrethroid: Kikuthrin. Studies on Insecticide IV.
 Michio NAKANISHI, Tsuneto KURIYAMA, Akira KUDO.....96
 14. Toxicological Studies on a New Pyrethroid: Kikuthrin (part I).
 Studies on Insecticide V.
 Michio NAKANISHI, Toshihiko MUKAI,
 Masaya TAKEUCHI, Masanobu EDANAGA103
 15. Toxicological Studies on a New Pyrethroid: Kikuthrin. (part II).
 Studies on Insecticide VI.
 Michio NAKANISHI, Yuji HAMADA, Katsuhiko IZAKI.....113
 16. Pharmacological Studies on a New Pyrethroid: Kikuthrin.
 Studies on Insecticide VII.
 Michio NAKANISHI, Tadao OKADA, Shigetoshi SHUTO,
 Nobuharu YAMAGUCHI.....117
- Abstracts**123

Published by

THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL

Kyoto University

Kyoto, Japan